

いわて復興だより

がんばろう！岩手 つながろう！岩手

三陸復興

第 62 号

平成 26 年 5 月 1 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

岩手県にも桜の季節が訪れ、街行く人々の目を楽しませてくれました。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

大船渡市新魚市場の完成式典が開催されました

水産のまち「大船渡」復興のシンボルに！

大船渡市

4 月 23 日（水）、大船渡市の新魚市場の工事が完了し、完成式典が開催されました。

新魚市場は、現在の魚市場の老朽化に伴い 2009 年に着工。東日本大震災津波で被災し、約 1 年間工事が中断した後、地盤沈下等の影響からかさ上げ工事が行われ、およそ 5 年の歳月を経て完成しました。

式典には、達増知事や戸田公明大船渡市長、漁業関係者や工事関係者など、約 300 人が参加しました。

戸田市長は、「生まれ変わった新しい市場は、市の復興のシンボルとなる施設。水揚げ増強や水産物のブランド化に弾みがつくと期待している」と挨拶。

この後、関係者らは大漁旗を掲げた漁船の前でテープカットを行い、新たな市場の門出を祝いました。

鉄筋コンクリート 4 階建ての新魚市場は、延べ床面積



完成した大船渡市魚市場

約 1 万 6,500 平方メートル。高度な衛生管理や鮮度管理の体制を整え、シャーベット海水を作る製氷施設が特長。また、家族で楽しめる展示スペースや見学デッキ、展望デッキが設けられるなど、観光の拠点としての役割も期待されています。



式典の様子



屋外で行われたテープカット



新魚市場の完成を祝う関係者



展示スペース

山田町で「桜で満たす集い」が開催されました

山田町

4 月 20 日（日）、山田町の船越家族旅行村オートキャンプ場において「桜で満たす集い」（主催：山田町、BG 浦の浜会）が開催されました。

当日は、町民や全国各地のボランティアが参加し、会場周辺の山の斜面におよそ 200 本の桜の苗木を植樹しました。

この取り組みは、津波の到達点よりも高い場所に新たな桜の名所を作ることを目的とし、昨年に引き続き行われたもので、今回の植樹で桜は 530 本となります。

植樹式では、佐藤信逸山田町長が「慈しんで育てた桜が一瞬にしてなくなってしまったことが、非常に残念。

桜をもう一度復活させ、犠牲になってしまった方々と共に楽しむ桜にしたい」と挨拶。新しい桜並木への願いを述べました。



植樹の様子



植樹の参加者



「e! いわて（いわてつながり情報局）」は、復興に関連する岩手のニュースや情報を知ることのできるアプリです。

入手した情報は Twitter や Facebook に投稿しシェアすることができます。

以下の OS を搭載したスマートフォンでご利用いただけます。

・ Android OS4.0 以降、iOS6.0 以降

詳しくは

いわてつながり情報局

検索



「ホワイトベース大槌」がオープンしました

4月17日（木）、大槌町吉里吉里（きりきり）に、簡易宿泊施設「ホワイトベース大槌」がオープンしました。

復興の本格化に伴い、大槌町で不足する宿泊施設の受け皿になることを目的に整備されたこの施設は、同町の復興まちづくり大槌株式会社が、5年間の期間限定で運営します。

客室は全室シングルルーム。2階建て4棟で構成される施設は、そのうち3棟52室が、長期間滞在型・男性客向けで、残りの1棟25室が観光客や帰省客など短期間での滞在者向け（バス・トイレ付）となっており、合

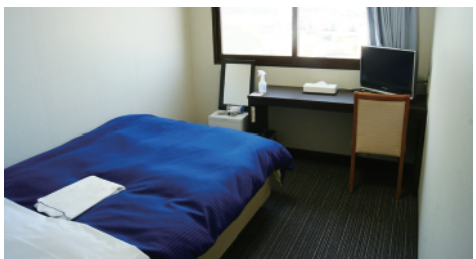
わせて77名の収容が可能です。

館内には、地元食材を提供する食堂や、地域物産販売ブースを完備。また、長期滞在者向け共同浴場は、震災時に吉里吉里地区の避難所で利用された薪ボイラーを使用し、お湯を沸かしています。

復興まちづくり大槌株式会社経営企画部次長の石井満さんは「こちらの施設は憩いの場、活力の場として活用してほしい。今後はイベント等を企画し、地元の方と触れ合う機会を作り、また大槌に来たいと思える施設にしたい」と抱負を述べました。



「ホワイトベース大槌」の外観



客室の様子



広々とした食堂

住所：〒028-1101 岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里 1-197 TEL: 0193-55-6651 FAX: 0193-55-6668 URL: <http://wb-otsuchi.com/>

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第16回目は、寺嶋 唯乃さんを紹介します。

PROFILE

大船渡市越喜来出身。

2013年5月から一年間「第15代大船渡つばき娘」として活動。

地元のイベントや東京等、県外のイベントに参加し、大船渡のPRを行う。

2014年5月からは三陸町観光センターで観光案内などを通じて、大船渡を観光面で支えている。

大船渡の魅力を発信したい

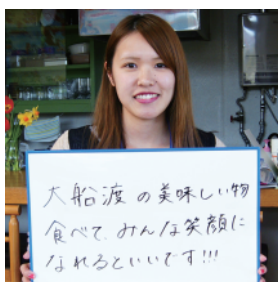
「つばき娘」として、県内外のイベントで大船渡市の魅力をPRしてきた寺嶋唯乃さん。

参加したイベントでは「皆様から、サンマなど海産物がおいしい」と喜んでいただけ、また「がんばってね」と励ましの声も多くいただき、

未来の

さんりく びと

大船渡市観光協会
三陸町観光センター
寺嶋 唯乃
(てらしまゆいの) さん



寺嶋さんからのひと言：
大船渡の美味しい物を食べて、みんな笑顔になれるといいです！

嬉しく思いましたと当時を振り返ります。

寺嶋さんは、「東日本大震災津波で多くのものを失った大船渡ですが、いいところも多く残っています。自然に恵まれ、おいしい海産物も豊富で、何より大船渡の人たちのあたたかい人柄に触れていただきたい。」と想いを語り、「これからも大船渡の魅力を伝えていきます！」と抱負を語りました。

三陸鉄道（三鉄）の運行再開に感謝

大船渡の復興状況については、「まだまだ遅い」という声もあれば「この期間でこれだけやれたんだから凄い」という両方の声を聞くそうです。

高校時代に通学で三鉄を利用し、三鉄が生活の一部となっていた寺嶋さんは「三鉄が運転再開して嬉しい。感謝の気持ちで一杯です」と笑顔で運転再開の喜びを語りました。

沿岸地域の復興の象徴とも言える三鉄の全線運転再開は、地元の方々にも大きな力となり、より一層の復興への励みとなっています。

岩手県の被害状況

平成26年3月31日現在

- ▶ 人的被害 死者（直接死）：4,672名 行方不明者：1,132名
- ▶ 建物被害（住家のみ、全半壊） 25,706棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

- ▶ 義援金受付状況 約179億5,467万円（88,247件）
- ▶ 寄付金受付状況 約186億9,077万円（6,612件） 平成26年2月28日現在
- ▶ いわての学び希望基金受付状況 約65億5,300万円（13,000件）

平成26年3月31日現在

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!! <http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第62号 平成26年5月1日号 企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス